

火宅か修羅か（青年団）

作・演出：平田オリザ

9月27日（土）・28日（日）17:00 26日（金）20:00から現場のぞき体験があります（詳しくはP.31へ）

劇場 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

湘南の古い旅館のロビーを舞台に、そこに集まり、通り過ぎて行く人々の静かな午後を描きます。

物語は、主に二つのグループの会話を中心に進みます。ひとつは、世間から逃げるようにこの旅館に住みついている小説家と、彼を訪ねてくる新妻や娘たち、編集者。もうひとつは、湘南で高校時代を過ごしたボート部員たちの同窓会。

逗子開成中学ボート遭難事件・七里ヶ浜の哀歌や、小説家が生涯の題材として取り組んでいるギリシャ神話を横軸に、一見無関係な二つの集団の会話が微妙に重なり合いながら物語は進んでいきます。

本作品は、1995年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞を受賞した平田オリザの受賞第一作として発表されました。富山・利賀村および東京・こまばアゴラ劇場で行われた初演は、演劇界のみならず各方面の注目と賞賛を集め、青年団にとって、『ソウル市民』、『東京ノート』を経て現在に至る、礎を築いたともいべき作品です。昨年の新キャストによる東京での再演を経て、待望の全国ツアーです。

出演：山村崇子 志賀廣太郎 兵藤公美 島田曜蔵 高橋 縁 能島瑞穂 申 瑞季 古屋隆太 鈴木智香子 古舘寛治 井上三奈子 大竹直 山本雅幸 萩野友里 堀 夏子 村田牧子 舞台美術：杉山 至 照明：岩城 保 舞台監督：中西隆雄 装置：濱崎賢二 衣裳：有賀千鶴 衣裳製作：菅かな女 制作：野村政之 佐藤 誠

